

みなさんは馬出町に通称小代官町通りと鉄砲町通りと呼ばれる小路があるのをご存知でしょうか？小丸山公園下の馬出町側の通りで、郵便局裏へ抜ける道です。小丸山公園側が小代官町通り、郵便局側が鉄砲町通りと呼ばれています。



鉄砲町通り

局には町人たちの役所的な施設である町会所がありました。その横の豆腐町薬師で知られる宝塔寺には時を告げる鐘があり、公園下から郵便局をつなぐ通り筋は武士階級の住宅街だったのです。



小代官町通り

これは江戸時代、この通りに小代官や鉄砲足軽と呼ばれた武士が住んでいたことから付いた呼称です。今回石田さんから提供していただいた古文書類はその鉄砲足軽の史料だったのです。小丸山公園周辺は所口町奉行所や御収納御蔵、現在の郵便

石田さんの先祖は代々山廻足軽という身分で、年収は藩から支給される切米20俵でした。また、所口附同心小頭格や御郡方留書御用などの役職も兼ねていたようです。特に恒之助という人物は居合術や正術、砲術の稽古に励んでおり、嘉永3年（1850）に

受けた武術や砲術などの免許皆伝証が多く残されています。



砲術の免許皆伝証

す。また、その上達振りから拝領金（特別支給金）が支給されるほどの腕前だったようです。当時は外国船が日本の海域に姿を見せるようになり、その海岸警備の第一線で働く足軽の戦闘稽古が盛んに行なわれていたことを知る史料として注目されます。

石田篤善氏の履歴からは、鹿島郡役所勤務時代の役職や当時の給料と慰労金（ボーナス）なども記されていて興味深いものがあります。また、明治39年までに書き残された17冊の「諸事出納帳」などの家計簿類は、動乱の明治時代を生きた石田家の生活実態を垣間見ることのできる絶好の史料といえます。

みなさんのお宅にも昔の字で書かれた書類がありましたらご一報ください。

お問い合わせ・ご連絡は
市史編さん室
お問合先
（七尾サンライフプラザ2階）
53-8447



石田篤善氏の履歴

